

専門分野と社会との関わり

公共施設や公共空間、あるいは個人の住宅などの計画や設計を行っています。その施設や空間がその地域の中でどのようにあるべきかを多角的に考えています。さらに、中山間地域における大規模な別荘地の研究を行っています。それらは、着眼点や規模が全く異なりますが、共通していることは人が利用するという事です。建築や都市は、人が生活を営むための総合的な環境であり、スケールを横断しながら幅広く取り組むことで、豊かな空間作りに繋げようとしています。○

建築・インテリア領域

准教授 臼井 直之

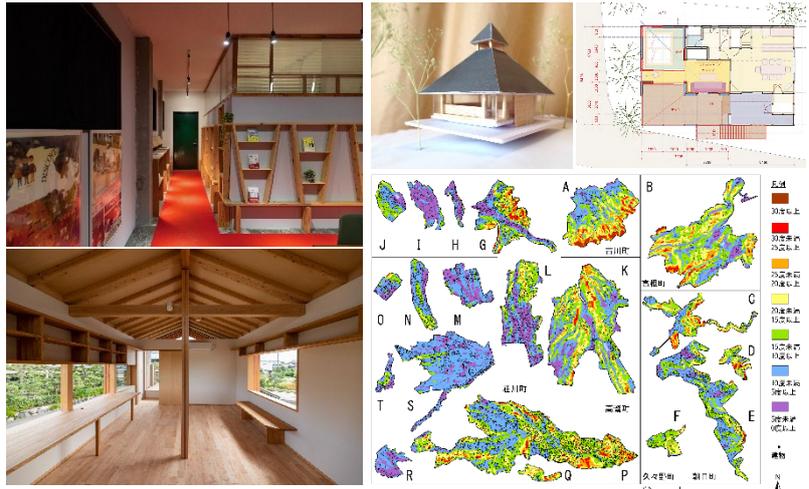
専門分野

建築設計
建築計画
地域デザイン

学位・資格

修士（建築学）

研究者情報
(Research Map)



最近の活動紹介

教育活動／研究活動

金公園およびパブリックトイレの設計

岐阜市の中心市街地にある金公園のリニューアルには、設計者の一人として参画しました。大きな芝生広場の周辺には、居心地の良いスケール感の居場所が点在するように設け、さまざまな人が思い思いの過ごし方で都市空間を楽しめるように心掛けました。また、公園内のパブリックトイレは、通り抜け型の平面計画とすることで、“裏側”や“行き止まり”を無くし、女性や子供たちも安心して使えるようにしました。コンクリートの特性と素材感を素直に表現し、ガラスを多用した明るい建築としました。



地域貢献活動

設計者選定プロポーザルや審議会における委員

公共施設の設計者選定プロポーザルの委員や、施設づくりが始まってからのデザイン会議の委員のほか、都市計画および景観に関する行政の審議会の委員なども行っています。いま決めたことによっては、10年後にその地域が自分たちの力で動き出しているかという視点で物事を捉えるようにしています。そのため、日頃から街を歩き、そこで暮らす人との意見交換を大切にしています。

